

本学における生成 AI ツールの活用方法に関するガイドライン

2022 年から急速に普及している「生成 AI (Generative AI)」は、データのパターンや関係を学習し、新しいコンテンツを生成することを目的とした人工知能の一種で、文章、画像、音声、音楽、動画など、多様なコンテンツを生成することができ、既に様々な局面、形態で利用されています。しかしながら生成 AI は、意味を理解せずに、統計的にもっともらしい発言をしているだけですので、誤った内容を発言する、あるいは ELSI (倫理的・法的・社会的課題) の観点から不適切な発言をするケースがあります。さらには、生成 AI を使用する際に利用者が入力する情報は、意図せずにも流出する可能性があるため、機密情報や個人情報等を入力してはならないことに留意する必要があります。

本学は、斬新な発想力(Inspiration)、豊かな想像力(Imagination)を持ってリーダーシップを発揮し、イノベーション(Innovation)を起こすことのできる人材を育成することを理念としており、それに資する新たな教育研究の取り組みを推進しています。また、産業界では生成 AI の利用が進められており、本学が連携している多数の企業からは大学で AI 利用技術の教育をしてほしいという要望もあります。このようなことから、本学において生成 AI のような AI 利用技術は不可欠なスキルとして、企業ニーズを踏まえて教育手法への適用を図っています。学生の皆さんは、自らの可能性を最大限に引き出すためにも積極的に利用することを推奨しますが、上述の状況を踏まえ、下記の点については留意してください。

1. 生成系 AI を利用して得た内容は学生の皆さんの成果物ではないので、課題等に対してこれをそのまま提出したときは、成績評価の対象とはならない。
2. 生成系 AI を利用して得た内容の信憑性には問題があり、その内容については文献等によって必ず検証し、課題等に利用する際にはその出典を明示する必要がある。
3. 生成系 AI を利用する場合、利用者が入力する情報は意図せずにも流出する可能性があるため、機密情報や個人情報等を入力してはならない。

令和 6 年 1 月 4 日

グローバル Biz 専門職大学

学長 平岩 賢志